

J R 東海労  
大二運分会

# 交差点

No.531  
2018年9月1日  
責任者：前田 稔  
発行：教宣部

## 山口さん！ 長い間、お疲れ様でした！！

山口敏明さんが、8月31日をもって退職されました。  
志半ばでの退職でした。

昭和50年（1975年）国鉄熊本管理局人吉機関区配属され、鉄道人生がスタート、主に肥薩線を乗務されていました。

昭和61年（1986年）国鉄改革を担い、広域異動で当時の国鉄新幹線総局大阪第二運転所に配属となり、東京～博多間の運転に従事されました。

JRになり現JR東海に配属され、新幹線運転士（途中から車掌兼務）として国鉄から新幹線を32年間乗務されました。

国鉄時代から動力車労働組合、JRになり東海労組（現ユニオン）、そして会社からの分裂策動により、JR東海労の結成を余儀なくされる中、一貫して役員、指導者として組織を牽引・指導してこられました。

JR東海労発足後、会社からの度重なる攻撃があり、反転攻勢の闘いを先頭で創ってこられました。JR東海労になってからは連続したボーナスカット攻撃を受け、高齢法改正から65歳までの雇用を法律で義務付けられるようになったにもかかわらず、会社は50歳以降5回のボーナスカットを60歳以降の雇用条件に入れ、年金の比例報酬部分が支給されるまで（山口さんの場合62歳）の雇用としてきました。

最後まで、会社の攻撃に抗し、ボーナスカット本人訴訟の原告として闘いを進め、現在も闘いは継続中です。

山口さんは、労働組合の役員だけでなく、剣道、ゴルフ、野球、ソフトボール、囲碁、将棋、山に海に川に畑と・・・全てのエキスパート・スペシャリストとして活躍されました。



レジェンドとして今後、新たな職場での活躍を期待します！！  
山口さん！！色々ありがとうございました！！